

地域から草の根の声を国政へ

日本共産党の大平よしのぶ前衆院議員は、「地域から草の根の声を国会へ」と中国地方各地を訪問。懇談・対話をはじめ、つどいや演説会で訴えるなど、議席奪還へ全力をあげています。2017年に議席を失って以来、未訪問の自治体は7市町村(10月20日現在)となり、全自治体訪問まであと一歩です。

ひびき合ってます(国の役割) 住み続けられる地域づくり

大平氏はこのほど、未訪問だった鳥取県の三朝町、江府町、湯梨浜町などを訪問し、同県内の全自治体訪問を達成しました。

三朝町の赤坂英樹副町長、江府町の白石祐治町長、倉吉商工会議所(倉吉市)の佐々木敬宗専務、JAとっとり西部(米子市)の植田秋博専務らと懇談。コロナ禍の観光業への影響や農業の実態などで率直に意見を交換し、大平氏は、農林水産業や地場産業の育成、中山間地の農業支援が大切だと強調しました。



三朝町の赤坂副町長と懇談

倉吉商工会議所の佐々木専務と懇談

大平

喜信のぶ

よしのぶ

前衆議院議員(比例中国・名簿登載予定者)

日本共産党

おおひら・よしのぶ

【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期(文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員)、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一男。

大平 公式 LINE

情報をお届けします
ぜひ友だち登録してください



ツイッターを
カクサンして
ください



古い 自民党政治から 新しい政治へ転換を



鳥取駅前でする山下氏ら



出雲市でする藤野保史衆院議員(右)と住寄聡美比例予定候補ら

各地で街頭演説

「来るべき総選挙で躍進を」と各地で街頭演説を開催。10日おこなわれた鳥取市、米子市では、山下よしき党副委員長が、古い自民党政治の転換と「日本共産党7つの提案」を訴えました。この日は松江市、出雲市でも取り组まれました。

日本共産党 7つの提案

1. **ケアに手厚い社会を**
医療、介護、保育…命を守る労働を大切に
2. **人間らしく働ける労働のルールを**
8時間働けば普通に暮らせる社会に
3. **1人1人の学びを保障する社会を**
少人数学級の実現、学費を半額に
4. **消費税の減税**
内需・家計・中小企業応援の経済へ転換
5. **科学を尊重する政治を**
PCR検査の抜本拡充でコロナ感染抑え込み
6. **文化・芸術を大切に国に**
文化・芸術への予算増を
7. **ジェンダー平等社会を**
「世帯主」制度の廃止を

住民犠牲の押し付けやめよ

F35B 追加配備、米兵の蛮行

米軍機の広島市上空飛行や岩国基地へのF35Bの追加配備、広島市西区で起きた米兵の民家侵入

事件を受け8日、大平氏らが「住民犠牲の押し付けやめよ」と中四国防衛局に申し入れしました。



申し入れる大平氏と広島県市議ら

ジェンダー平等の社会実現を フラワーデモおかもやまに参加

岡山駅前でする11日におこなわれた「フラワーデモ」に参加。性暴力、性犯罪の根絶、ジェンダー平等の実現へ決意を新たにしました。



市民と野党共闘の要・日本共産党を伸ばして再び国会へ